保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	書斎ラジオ ワイド			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RAD-T941N	品　番	07-7941	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前（ふりがな）　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

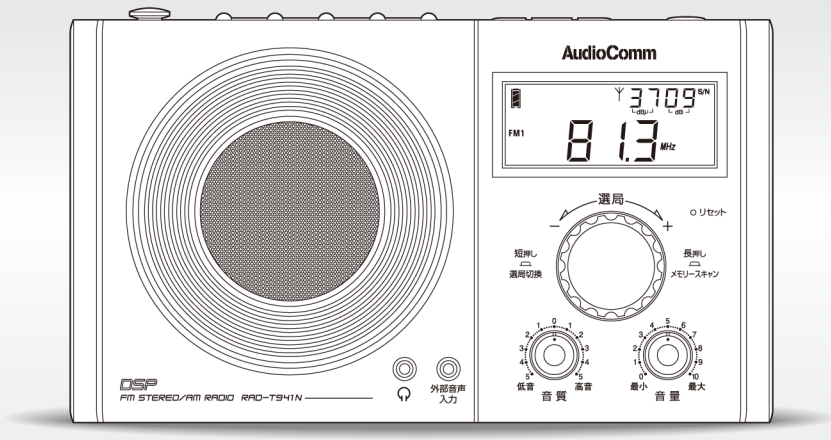
07-7941A

AudioComm®

取扱説明書　保証書付

書斎ラジオ ワイド

型番：RAD-T941N　品番：07-7941



このたびは、AudioComm®書斎ラジオ ワイドをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項……1
安全上のご注意 …… 2～3
乾電池の入れかた……4
各部の名称…… 5～6
時刻を合わせる ……7
ラジオ放送を聴く ……8
便利な選局機能
受信可能な放送局を自動でスキャニングして選局するには　<自動選局> ……9
よく聴く放送局を登録し、ワンタッチで選局するには　<お気に入り>……9
受信可能な放送局を一括でメモリー登録するには<ATS(オートチューニングストレージ)> …… 10
放送局を手動でメモリー登録するには<手動メモリー登録> …… 10
メモリー登録した放送局を選ぶには …… 11
メモリー登録した放送局をスキップしながら受信し、聴きたい局を探すには …… 11
すでに登録されている放送局のメモリー番号を変更するには …… 11
任意のメモリー登録内容を消去するには …… 12
メモリー登録を一括して消去するには…… 12
その他の便利な機能
アラーム …… 13～14
スリープ …… 14
FM設定 …… 15
外部機器を接続する …… 15
ヘッドホンで聴くには …… 16
ACアダプター(別売)で使うには …… 16
故障かなと思ったら …… 17
お手入れのしかた …… 17
主な仕様…… 18
保証書とアフターサービスについて …… 18
保証書…… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は感電注意が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は分解禁止が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

⚠ 警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
使用禁止	**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。
乾電池に注意	**乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する** ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。	適合品を使う	**ACアダプターは、必ず本機の仕様に適合した製品を使う。** ●破損や火傷、発煙、火災の原因となります。
		接触禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り始めたら、ACアダプター及びコードに触れない** ●感電のおそれがあります。

次ページに続く

⚠注意

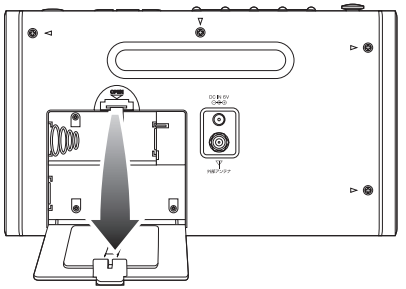
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	音量は小さく	**音量を抑える。大音量にしない** ●周囲の迷惑になります。 ●大きな音で聴き続けると、聴力障害などの原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	アンテナをたたむ	**持ち運ぶときは、アンテナをたたむ** ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。
禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。	乾電池を取り外す	**お手入れの際には安全のため乾電池を取り外す。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く** ●感電の原因となることがあります。
禁止	**落としたり、本機に重いものを載せたりしない。また、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない** ●故障や破損の原因になることがあります。	乾電池を取り外す	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず乾電池を取り外す。ACアダプター使用時はコンセントから抜く** ●火災・液もれの原因となることがあります。
極性に注意	**乾電池は極性表示(⊕⊖の向き)に注意し、正しく入れる** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	禁止	**電磁波を発生させる機器(テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
禁止	**指定以外の乾電池は使わない** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		

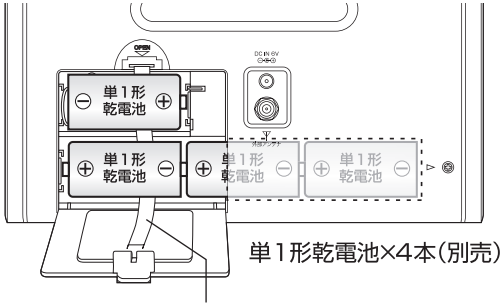
乾電池の入れかた

⚠ 乾電池を出し入れするときは、必ず電源を切ってから行ってください。

1. 背面の電池カバーのツメを押し下げ、矢印の方向に開けます。
2. 単1形乾電池4本(別売)を、右下図のように正しく入れます(コイルばねのある方が⊖側です。⊖側から先に装着してください)。
3. 乾電池を入れたら、元通りに電池カバーをしっかり閉めます。

背面





単1形乾電池×4本(別売)

リボンの上から乾電池をセットすると、後で取り外しが楽になります。

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

ヒント
- ●乾電池を装着すると、工場出荷時の初期画面がディスプレイに表示されます。P.7を参照して、現在の時刻を設定してください。
- ●ACアダプター(別売)にてご使用のときは、必ず本機の規格に適合したACアダプターを使って接続してください(P.16を参照)。

乾電池を安全にお使いいただくために

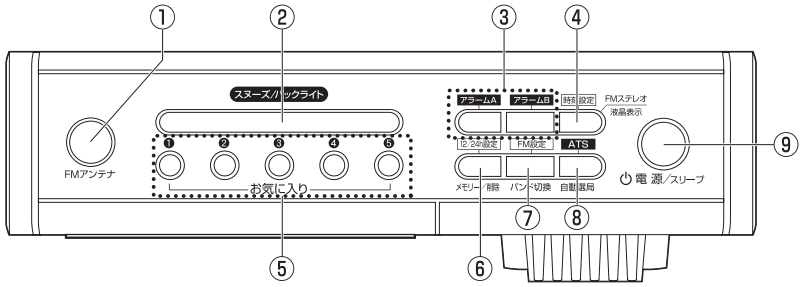
液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

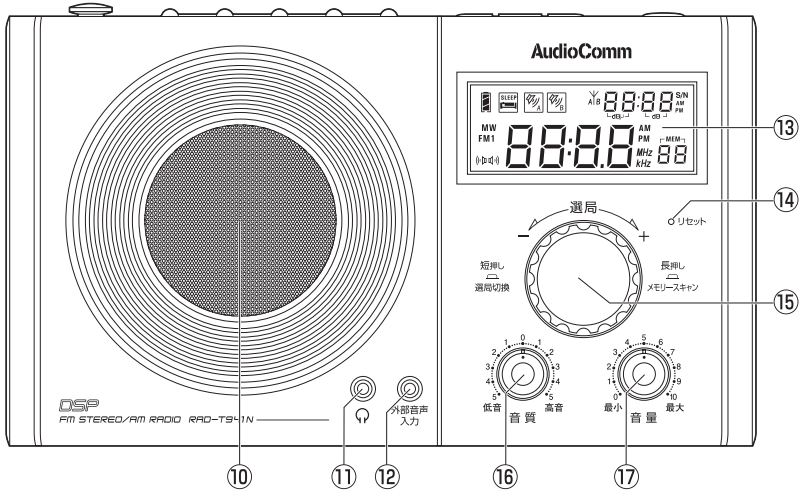
- ●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- ●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- ●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

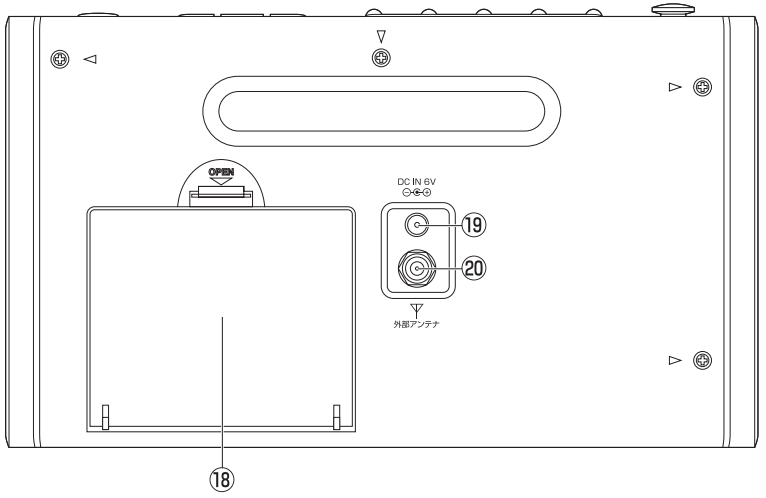
上面



前面



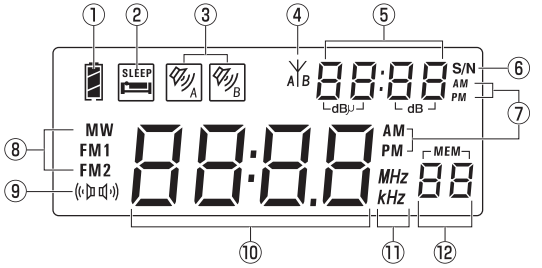
背面



①FMアンテナ
②スヌーズ／バックライトボタン
③アラームボタン(A ／ B)
④時刻設定ボタン
（FMステレオボタン／液晶表示ボタン）
⑤お気に入りボタン(❶〜❺)
⑥メモリー／削除ボタン
（12/24h設定ボタン）
⑦バンド切換ボタン
（FM設定ボタン）
⑧自動選局ボタン(ATSボタン)
⑨電源／スリープボタン
⑩スピーカー
⑪ヘッドホン端子
⑫外部音声入力端子
⑬ディスプレイ
⑭リセット穴
⑮選局ツマミ
⑯音質ツマミ
⑰音量ツマミ
⑱電池カバー
⑲DC IN(外部電源)端子
⑳外部アンテナ接続端子

※本取扱説明書では、同じボタンでも機能に応じて名称を使い分けて解説する場合があります。あらかじめご了承ください。

ディスプレイ



①電池残量表示
②スリープアイコン
③アラームアイコン(A ／ B)
④アラーム時刻表示アイコン(A ／ B)
受信レベル表示アイコン
⑤受信レベル表示、時刻表示
⑥S/Nアイコン
⑦AM ／ PMアイコン
⑧バンド表示[MW(AM)／ FM1 ／ FM2]
⑨FMステレオ受信アイコン
⑩周波数・時刻表示
⑪周波数単位表示
⑫メモリー番号・お気に入り番号表示

ヒント 電池残量表示について

下図を参考に、電池残量が少なくなってきたら早めに新しい乾電池と交換してください。ACアダプター使用時は、電池残量に関係なく常にフル状態を表示します。

フル → 少ない → なし

バックライトについて

●電源オフ中にバックライトを点灯させるには

電源／スリープボタンを除くいずれのボタンを押しても、バックライトが約3秒間点灯します。選局ツマミを回したり押したりした場合も、同様です。

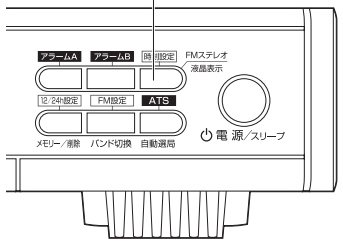
※一度点灯したバックライトは、
約3秒間何も操作しないとオフになります。

●電源オン中にバックライトを点灯させるには

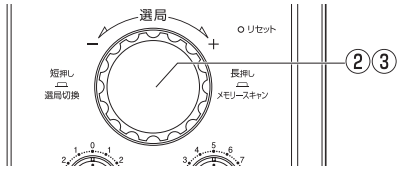
スヌーズ／バックライトボタンを押すと、バックライトが約3秒間点灯します(点灯中に同ボタンを押すと消灯します)。また、何らかのボタンを押して操作した場合や、選局ツマミを回したり押したりした場合も点灯します。

時刻を合わせる

上面 ①②③



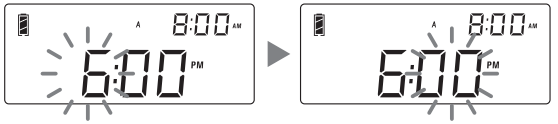
前面



電源オフ時に操作してください。

①時刻設定ボタンを長押しします。
ディスプレイの「時」表示が点滅します。

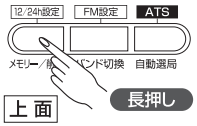
②選局ツマミを回して、「時」を選び、時刻設定ボタンを押します。
「分」表示が点滅します。



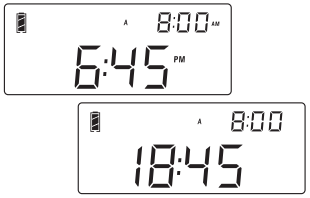
③選局ツマミを回して「分」を選び、時刻設定ボタンを押すと、設定が確定します。

ご注意 3秒間何も操作しない時間が続くと、それまでの内容で設定が確定します。変更する場合はもう一度最初からやり直してください。

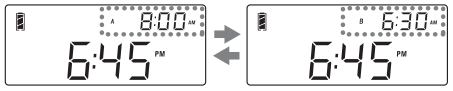
ヒント ディスプレイの表示切換について



●時刻の表示方式を切り換えるには
電源オフ時に12/24h設定ボタンを長押しすると、12時間表示と24時間表示を切り換えることができます（12Hまたは24Hと表示された後、現在の時刻表示が切り換わります）。

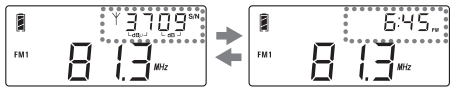


●右上の表示部を切り換えるには
※電源オフ時と電源オン時で表示内容が異なります。
電源オフ時に液晶表示ボタンを押すと、アラームの設定時刻を確認することができます。押すたびに「アラームA設定時刻」⇆「アラームB設定時刻」を切り換えます。



アラームA設定時刻　アラームB設定時刻

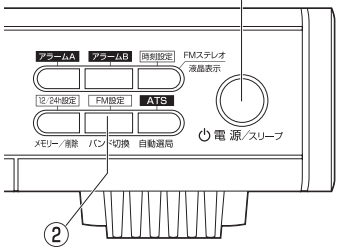
また、電源オン時に液晶表示ボタンを押すと、「受信レベル」と「現在時刻」のを表示を切り換えることができます。



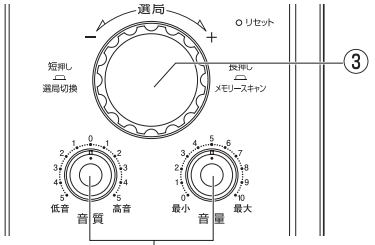
受信レベル　現在時刻

ラジオ放送を聴く

上面 ①⑤



前面



電源を入れる前に音量ツマミを確認し、音量を絞った状態で操作してください。

①電源／スリープボタンを長押しして電源を入れます。
ディスプレイのバックライトが点灯すると同時に「On」と表示され、ラジオの受信状態になります。
※短押しするとスリープ設定モードになります（P.14参照）。

②バンド切換ボタンを押して、任意のバンド（AMまたはFM1、FM2）を選択します。
本機ではAM放送は「MW」と表示されます。また、FM放送は「FM 1」（受信周波数：76.0～90.0MHz）と「FM2」（受信周波数：90.0～108.0MHz）があります。

本機はFM周波数帯域が76.0～108.0MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。
FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

③選局ツマミを回してお聴きになりたい放送局を選びます。
ディスプレイの周波数表示を見ながら選んでください。

FM放送は0.1MHz単位、AM（MW）放送は9kHz単位で周波数が変わります。

ヒント 受信レベル表示について

液晶表示ボタンを押して、受信レベル表示に切り換えると、ラジオ受信中に受信レベルを確認することができます。

dBμ…電波の強さを数字で表します（数字が大きい方が信号が強い）。

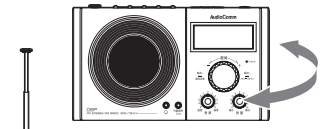
dB……ノイズと信号のレベル差を表します（数字が大きい方がノイズが少ない）。

④音量ツマミ、音質ツマミを回して音量・音質を調節します。
周囲の迷惑にならないよう、音量の上げすぎにご注意ください。

⑤終了するときは、音量ツマミを回して音量を絞り、電源／スリープボタンを押します。
「OFF」と表示された後、時刻表示に戻ってバックライトもオフになります。

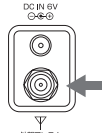
ヒント より良くラジオを聴くために

●AM（MW）放送を聴く場合
本機にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて調節してください。



●FM放送を聴く受信
ロッドアンテナを伸ばし、本機の向き・場所を調節してください。

●FM受信用外部アンテナ（別売）を使用する場合は、背面の外部アンテナ接続端子に接続の上、受信状態を確認しながらアンテナの角度や場所を調節してください。

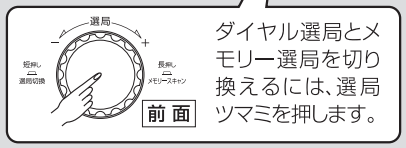


背面

便利な選局機能

本機には【ダイヤル選局】と【メモリー選局】、【お気に入り】の3つの選局モードがあり、お好みに応じて使い分けることができます。

【ダイヤル選局モード】
選局ツマミで周波数を指定して選局します（P.8で解説した選局操作はこの方法です）。



ダイヤル選局とメモリー選局を切り換えるには、選局ツマミを押します。

【メモリー選局モード】
よく聴く放送局や受信可能な放送局を、手動メモリー登録またはATSによって登録することで、簡単に選局できるようになります。

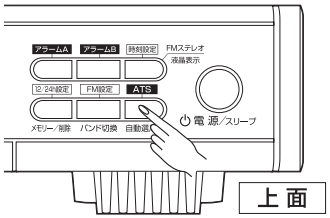
メモリー番号が表示されます。

【お気に入りモード】
特によく聴く放送局をお気に入りボタンに登録すると、ワンタッチで選局できます。ダイヤル選局モード、メモリー選局モード時でも、ワンタッチで選局できます。

P[番号]が表示されます。

受信可能な放送局を自動でスキャニングして選局するには

自動選局

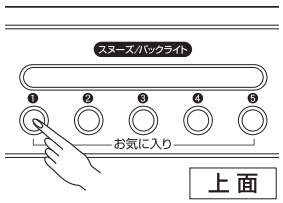


自動選局ボタン（ATSボタン）を押すと、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局で止まります。もう一度押すと、次に受信可能な放送局を受信します。

※メモリー選局時やお気に入り選局時でも、自動選局ボタン（ATSボタン）を押すとダイヤル選局モードになり、スキャニングを開始します。

よく聴く放送局を登録し、ワンタッチで選局するには

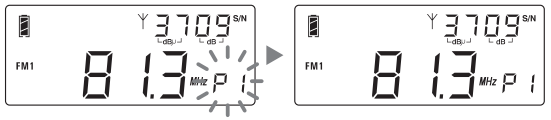
お気に入り



お気に入りボタン（❶～❺）によく聴く放送局を登録すると、そのボタンを押すだけで簡単に選局できるようになります。AM（MW）、FM1、FM2それぞれに5局を登録できます。

①登録したい放送局を受信した状態で、登録したい番号のお気に入りボタンを長押しします。 ディスプレイにP[番号]が点滅表示されます。

②ディスプレイのP[番号]表示を確認して、もう一度押します。



ヒント
- ●ステップ1で登録したい番号のボタンを長押しした後、しばらく放置したときも登録されます。
- ●お気に入りボタンを使って登録した放送局を選局する場合は、バンド切換ボタンでバンドを選んだ後、お気に入りボタンを押してください。ディスプレイにP[番号]が表示されます。
- ●お気に入りボタンの登録内容を消去することはできません。上記ステップ①、②の操作により、上書きすることは可能です。

受信可能な放送局を一括でメモリー登録するには

ATS（オートチューニングストレージ）

メモリー登録は、手動メモリー登録とATSでの登録を合わせて、AM（MW）、FM1、FM2それぞれ100局まで登録できます。

自動選局ボタン（ATSボタン）を長押しすると、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます。
- この際、ディスプレイにメモリー番号が点滅し、最初に受信できた局から01、02 …と追加されます（この間もスキャニングが続きます）。
- ひと通りスキャニングが終わると、01に登録された放送局を受信します。

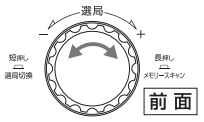
※すでにATSでメモリー登録をしている場合、再度ATSを実行すると、登録内容が消去され、最初から登録し直されます。また、手動でメモリー登録した内容も、上書きされますのでご注意ください。

周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます。

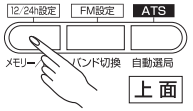
ヒント 電波の受信状態によって登録できる放送局数が異なります。窓の近くなど、できるだけ電波状態の良い場所でスキャニングすることをお勧めします。

放送局を手動でメモリー登録するには

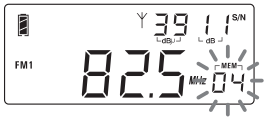
手動メモリー登録



①ダイヤル選局モードで、メモリー登録したい放送局を受信します。



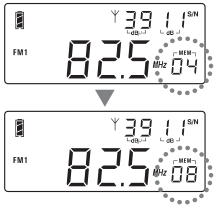
②メモリー／削除ボタンを押します。
ディスプレイのメモリー番号がしばらく点滅し、その番号に登録されます（点滅から点灯に変わると、登録が確定します）。



③続けて登録を続ける場合は、①～②の操作を繰り返します。
登録が終わると、ダイヤル選局モードで登録した放送局を受信します。

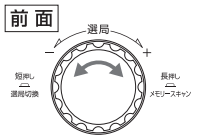
ヒント 登録の途中でメモリー番号を変更するには

メモリー番号は、00～ 99のうち登録されていない小さい数字の番号から順に自動で割り振られます。任意のメモリー番号に変更して登録したい場合は、ステップ②でメモリー番号が点滅中に、選局ツマミを回して番号を変更します（点滅から点灯に変わると、変更が確定します）。

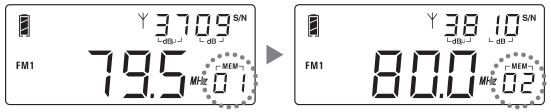


便利な選局機能（つづき）

メモリー登録した放送局を選ぶには



選局ツマミを回してお好みのメモリー番号を選びます。
※ダイヤル選局モードの場合は、選局ツマミを短く押してメモリー選局モードにしてから上記の操作をしてください。



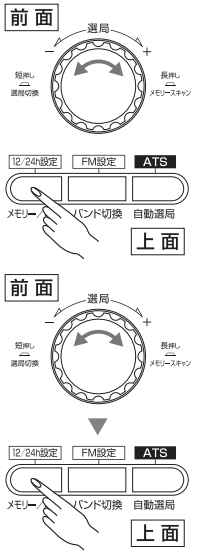
メモリー選局モードで、メモリー番号を見ながら選局ツマミを回します。

メモリー登録した放送局をスキップしながら受信し、聴きたい局を探すには

選局ツマミを長押しすると、メモリー登録された放送局を、約3秒間ずつスキップ受信します。聴きたい放送を受信しているときにもう一度選局ツマミを押すと、スキップを中止しその放送局を受信します。

スキップ中は最後までいくと再び最初の放送局に戻って受信します。

すでに登録されている放送局のメモリー番号を変更するには



①メモリー選局モードで変更したい番号を選びます。

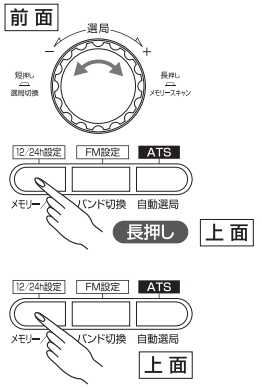
②メモリー／削除ボタンを押します。
（メモリー番号が点滅します）。

③選局ツマミを回して新しい番号を選び、もう一度メモリー／削除ボタンを押します
（点滅から常灯に変わり、変更が確定します）。

※ステップ③でメモリー／削除ボタンを押さないでいた場合も、点滅から常灯に変わり、変更が確定します。

※メモリー番号を変更しても、元の番号はメモリー内に残っています。不要な場合や別の放送局を割り当てたい場合は、「任意のメモリー登録内容を消去するには」を参照して、登録内容を消去してください。

任意のメモリー登録内容を消去するには



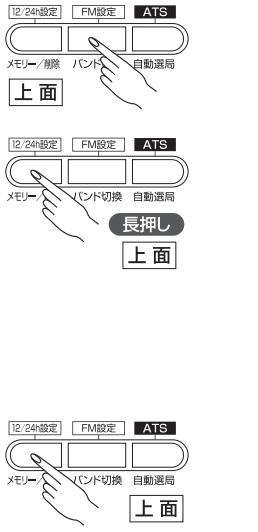
①メモリー選局モードで消去したい番号を選びます。

②メモリー／削除ボタンを長押しします。
「dEL」と表示され、メモリー番号が点滅します。

③もう一度メモリー／削除ボタンを押します。
消去が終わると、次のメモリー番号を受信します。

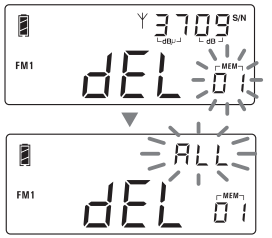
ご注意
- ステップ2でメモリー／削除ボタンを長押しした後、何も操作しない時間が約2秒間続くと、操作がキャンセルされます。必要に応じてもう一度やり直してください。
- メモリーの登録内容を消去すると、修復することはできませんのでご注意ください。

メモリー登録を一括して消去するには



①バンド切換ボタンを押して、一括消去したいバンドにし、メモリー選局モードにします。

②メモリー／削除ボタンを長押しします。
「dEL」と表示されてメモリー番号が点滅し、さらにディスプレイ右上に「ALL」が点滅表示されるまで長押ししてください。



③もう一度メモリー／削除ボタンを押します。
消去が終わると、聴いていた放送局をダイヤル選局モードで受信します。

ご注意
- ステップ2でメモリー／削除ボタンを長押しし「ALL」が点滅表示された後、何も操作しない時間が約2秒間続くと、操作がキャンセルされます。必要に応じてもう一度やり直してください。
- メモリー登録を一括消去すると、修復することはできませんのでご注意ください。

その他の便利な機能

アラーム

本機ではA、B2つのアラームを設定して使い分けることができます。それぞれアラーム起動時刻とアラーム終了までの時間をあらかじめ登録しておけば、ボタン一つで起動設定のオン・オフができます。

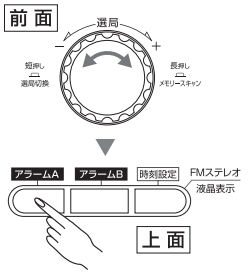
アラーム起動時刻とアラーム終了までの時間を登録する

※ここではアラームAに登録する方法を紹介します。アラームBに登録したい場合は、それぞれのステップでAをBに読み替えて操作してください。
※アラーム音はラジオ音声のみです。

はじめに

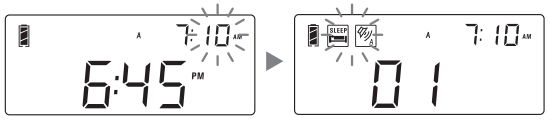
❶起動時に聴きたいラジオ局をあらかじめ受信し、音量調整をした後、アラームボタン(A)を長押しします。
❷アラームアイコン( )が点滅したら指を離します(アラームアイコンが点灯に変わります)。
❸アラームボタン(A)を押し、アラームアイコンが消灯したら電源をオフにします。
この状態で以下の操作をしてください。

①アラームボタン(A)を長押しします。
ディスプレイにAが表示され、右上の「時」表示が点滅します。

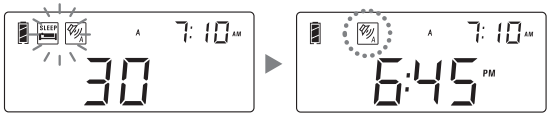


②選局ツマミを回してアラームを起動させたい「時」を選び、アラームボタン(A)を押します。
「分」表示が点滅します。

③選局ツマミを回してアラームを起動させたい「分」を選び、アラームボタン(A)を押します。
アラームアイコン(A)とスリープアイコンが点滅し、数字が表示されます。



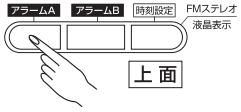
④選局ツマミを回してアラーム終了までの時間を選び、アラームボタン(A)を押します。
登録が確定し、アラームAの起動設定がオンになります。



登録後はアラームアイコンが表示され、起動設定がオンになります。

ヒント
- ●3秒間何も操作しない時間が続くと、それまでの内容で設定が確定します。変更する場合はもう一度最初からやり直してください。
- ●アラームの起動設定がオンのときは、ディスプレイ右上にアラーム起動時刻が表示されます。
- ●アラーム起動設定をオフにするには、アラームボタン(A)を押して、アラームアイコン(A)を消してください。。

アラームの起動設定をオンにする



一度登録したアラーム設定は、アラームボタン(AまたはB：起動設定したい方のボタン)を押すと、起動のオン／オフを切り換えることができます(ディスプレイにアラームアイコンが表示されます)。

起動設定オン

アラームが鳴ったら

設定した時刻になると、アラームが起動し、ラジオを受信します。起動中は、アラームアイコンとアラーム終了までの残り時間が点滅します。

アラームを解除するには

電源／スリープボタンを押すと、アラームが解除され、そのまま電源オンの状態になります。

スヌーズ機能を使うには

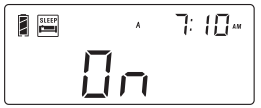
スヌーズ／バックライトボタンを押すと、一時的にアラーム(ラジオ音声)が中断し、約10分後に再度鳴り始めます。スヌーズ中はアラームアイコンが点滅し、アラーム起動時刻が右上に表示されます。

ヒントとご注意
- ●アラーム起動中やスヌーズ中は、電源／スリープボタン、スヌーズ／バックライトボタン以外は機能しません。
- ●アラームを解除しても、翌日同じ時刻に再度起動します。起動設定を解除するには、電源オフ時にアラームボタン(AまたはB：起動設定を解除したい方のボタン)を押してディスプレイのアラームアイコンを消してください。)

スリープ

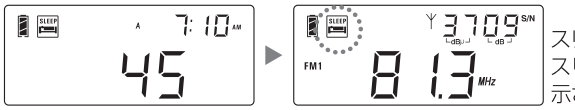
電源オフ時に操作してください。

①電源／スリープボタンを押して電源を入れます。



電源オン(スリープなし)

②すぐに選局ツマミを回し、自動電源オフまでの時間を設定します。
そのまましばらくすると設定が確定し、電源オン(ラジオ受信)になります。

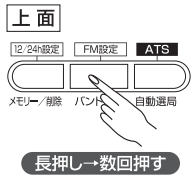


スリープ設定有効時はスリープアイコンが表示されます。

ヒントとご注意
- ●約3秒間選局ツマミを操作しない時間が続くと、設定が確定し電源オンになります。意図しない時間で設定されてしまった場合は、もう一度電源オフにしてやり直してください。
- ●選局ツマミを時計回りに回すと数字が増え、反時計回りに回すと数字が減ります。
- ●1分・5分・10分・15分・30分・45分・60分・75分・90分、以降480分まで30分刻みで設定できます。
- ●設定した時間は次回電源オン時も保持されています。解除するには、電源オン時にすぐに選局ツマミを回し、時間の設定を「On」表示にしてください。

FM設定

本機ではFM放送の受信周波数帯を変更することができます。
ただし、工場出荷時の設定は日本のFMラジオ周波数に合わせて76.0～108.0MHzとなっています。特に必要がある場合を除いて変更しないでください。

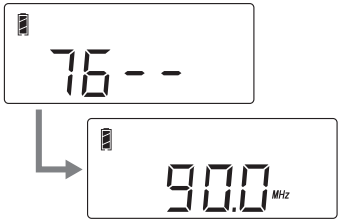


電源オフ時に操作してください。

①FM設定ボタンを長押しします。

②さらにFM設定ボタンを数回押します。
3種類の受信周波数帯が「最小周波数」→「最大周波数」の順で表示されますので、日本での使用に対応した「76–」が表示されるまで、数回押してください。そのまましばらくすると変更が確定します。

※同時にAM（MW）放送の受信周波数帯についても自動的に変更されます。

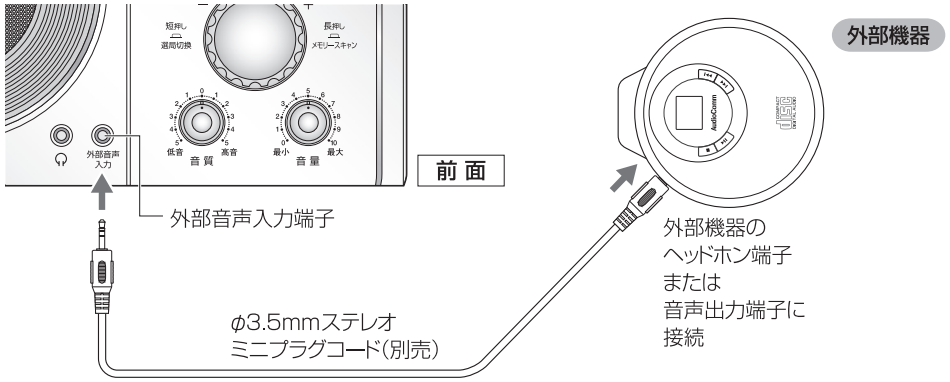


「76–」が表示されたら押すのをやめます。すると「90.0MHz」が表示されて変更が確定し、現在時刻表示に戻ります。

設定	エリア	FM受信周波数帯（上段：FM1 ／下段：FM2）	AM（MW）受信周波数帯
76--	日本	76～90MHz（100kHzステップ）	522～1620kHz（9kHzステップ）
		90～108MHz（100kHzステップ）	
88--	海外（アメリカ）	88～108MHz（100kHzステップ）	520～1710kHz（10kHzステップ）
		90～108MHz（100kHzステップ）	
87--	海外	87～108MHz（100kHzステップ）	522～1620kHz（9kHzステップ）
		90～108MHz（100kHzステップ）	

外部機器を接続する

本機の外部音声入力端子と外部機器を、φ3.5mmステレオミニプラグコード（別売）で接続して、ポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなどの音楽を楽しむことができます。外部機器を接続中、ヘッドホンから出力されるのはL、R両チャンネルをミックスした音になります。

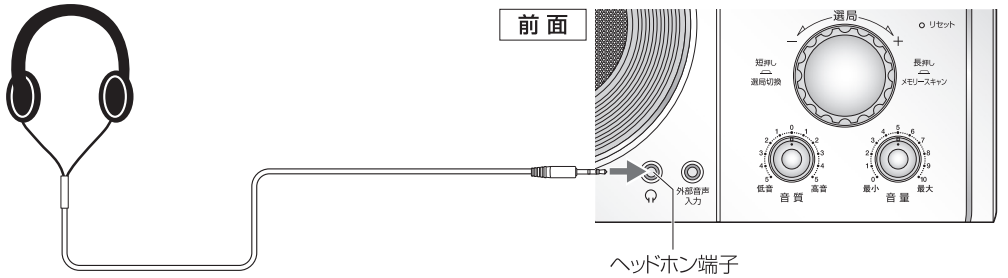


ヒントとご注意

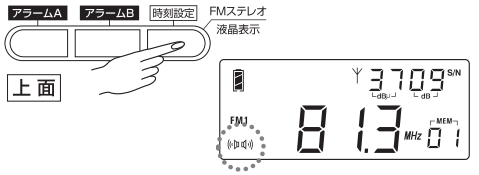
- コードの接続及び解除は、双方の機器とも電源オフの状態で行ってください。
- 音量の調節は、本機及び外部機器双方で可能ですが、本機側で音量を上げすぎると、接続解除後に電源を入れたとき、突然大きな音が出る場合がありますので、十分ご注意ください。
- 外部機器を接続中、スピーカーからわずかに音が出力されることがありますが、故障ではありません

ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンで聴くときは、別売のステレオヘッドホン（φ3.5mmステレオミニプラグ）をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



ヒントとご注意

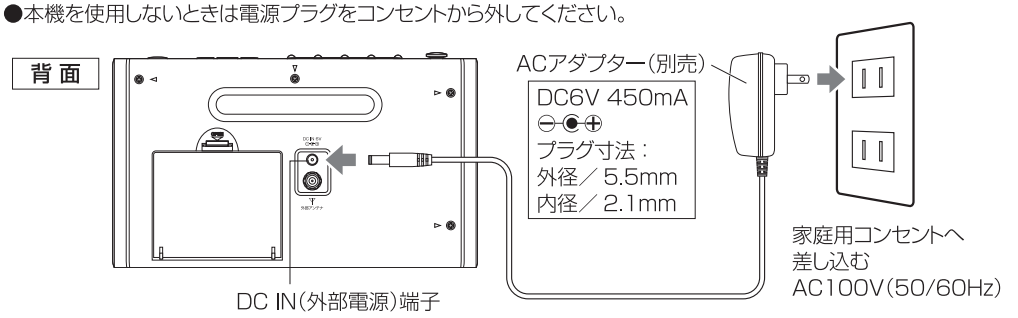


- FMステレオ放送を良好な状態で受信しているときは、FMステレオボタンを押すと、ヘッドホンからの音声がステレオ放送になります。もう一度押すとモノラル音声に戻ります（音声にノイズが入る場合は、モノラル音声にすると聴きやすくなります）。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 外部機器を接続中の場合、ヘッドホンから出力されるのはL、R両チャンネルをミックスした音になります。

ACアダプター（別売）で使うには

本製品には、ACアダプターは付属しておりません。市販のACアダプター（DC6V　450mA ⊖-◉-⊕ プラグ寸法：外径／ 5.5mm　内径／ 2.1mm）を別途お買い求めの上、ご使用ください。

- ACアダプター（別売）を使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続してください。
- ACアダプター使用時は乾電池を装着している場合でも、自動的にAC電源に切り換わります。
- 本機を使用しないときは電源プラグをコンセントから外してください。



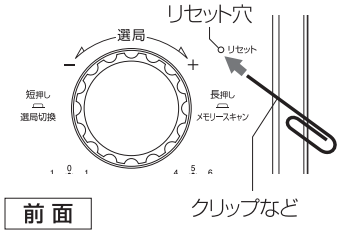
ご注意

- ACアダプターは必ず、本機の仕様に適合した製品をお使いください。適合しない製品を使うと、機器の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
- ACアダプターを抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行なってください。
- スイッチング式のACアダプターを使用すると、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。
- ACアダプターにてご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音（ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音）が耳障りになることがあります。その場合は乾電池にてご使用ください。

故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
電源が入らない	●乾電池が正しく入っていますか。また、乾電池は消耗していませんか。 ●(AC 電源にて使用時)AC アダプターは本機の規格に適合したものを使用していますか。 ●(AC 電源にて使用時)AC アダプターが正しく差し込まれていますか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか。
雑音が入る 音が震える	●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話を本機から離して使用してください)。 ●テレビやパソコン、蛍光灯などの近くで、AM(MW)放送を受信していませんか(雑音が入ることがあります)。また、テレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
受信周波数がおかしい	●誤設定になっていませんか。P.15 の FM 設定を参照し、再設定してください。
途中で電源が切れる	●スリープ(自動電源オフ)の時間が設定されていませんか。

ヒント　リセット操作について



上記を確認しても不具合が解消されない場合、リセット操作をすることで直る場合があります。細い金属ピン(広げたクリップなど)を用意し、以下の通り操作してください。

①電源を切り、乾電池を取り外します(ACアダプター使用時は、ACアダプターも取り外します)。

②用意した金属ピンをリセット穴の中に入れ、奥にあるスイッチを軽く押してください。

③乾電池を装着した後(またはACアダプター接続後)、電源／スリープボタンを押して電源を入れ、確認してください。

※リセットすると各種設定は工場出荷時の状態に戻りますので、再度設定してください。

お手入れのしかた

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

主な仕様

電源	DC6V　単1形乾電池×4本(別売)
	外部電源　DC6V 450mA ⊖◉⊕(ACアダプター別売)
受信周波数	FM1：76.0～90.0MHz、FM2：90.0～108.0MHz(FM補完放送「ワイドFM」対応)
	AM(MW)：522～1620kHz
スピーカー	直径65mm
外部入力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
電池持続時間の目安	FM：約200時間
	AM(MW)：約150時間
外形寸法	幅258×高さ148×奥行63mm(突起物含まず)
時計精度	月差30秒以内
質量	約1050g(乾電池含まず)
付属品	取扱説明書(本書)

※電池持続時間の目安は、アルカリ乾電池新品使用、音量中程度にてご使用時の目安です。
※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。
※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。